



愛する那須塩原を、100年先、そしてその先に、元気なかたちでつないでいきたい

那須塩原のパーパス「好きを、編む。」を策定

「那須塩原で暮らす幸せ」とは

「誰かが心地よく暮らせるあわい」を策定



2025年、那須塩原市は誕生20周年という大きな節目を迎えることができました。先人たちが築き、受け継いできたこの素晴らしいまちを、私たちが未来へとつないでいきたい。「どうすれば、この愛する那須塩原を、次の世代、その次の世代へと、ずっと輝きを失わずに受け継いでいけるのだろうか。」

この問いに答えるためには、市民をはじめ、那須塩原に関わるすべての人々との共創を生み、変化を味方につける、ブレない軸が必要です。その軸となるのが、今回策定した那須塩原の「パーパス(存在目的・活動目的)」です。これからも、このまちを元気なまちで未来へつないでいくために、一人ひとりの「好き」を大切にしながら、新たなつながりを生み出していきたいです。

那須塩原のパーパス

自分がいきる暮らしとは、どんなものだろうか。

それは、何かに縛られることなく、十分に自分の心に目を向けたいうえで、思ったことをかたちにできるだけでなく、それが思わず求められてしまうような、ありのままの生き方。

ひとつとして同じものではなく、それぞれがおぎない、楽しみながら支えあうことができる。そんなあたりまえのようでありたい暮らし。

自然ととけあい、都市とつながるこのまちで、他に流されすぎることなく、ここよい距離感を保ちながら、思いや動きの機会をもたす。それは、100年以上も前、開拓の時代、それよりもずっと前から変わらない。

都市か地方か、まちか自然か。こうあるべきというかたちをもたないからこそ、あらゆるものの思いが、このまちに編み込まれてきた。

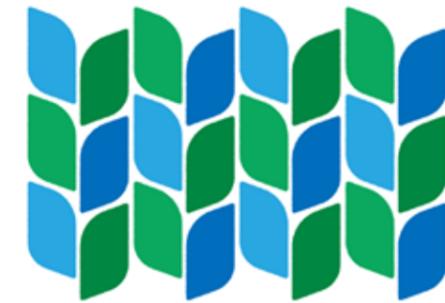
そしてこれからも。それぞれが自分らしく。幸せな「あわい」をみつければ、那須塩原に関わるすべてにとって、自分がいきる暮らしを編み続けていくと信じている。

何かに依ることのない幸せなあわいで、自分がいきる暮らしのために。

好きを、編む。

このようなまちだからこそ、市民一人ひとりの個性が活かされ、互いに支え合うことで、それぞれの活動が共創関係を生み出し、持続可能な発展へとつながっています。これまでも、そしてこれからも、多様な価値観を尊重し合いながら、誰もが自分らしく暮らすことができる那須塩原を未来へとつないでいきます。

「誰かが心地よく暮らせるあわい」
那須塩原での暮らしの特徴は、自然とともにありながら都市ともつながり、心地よい距離感のなかで自分らしく過ごせること。
都市か地方か、まちか自然か。どちらかに縛られることなく、決まったかたちを持たないことで、多様な思いがこのまちに編み込まれ、新たなつながりや動きが生まれています。



好きを、編む。
那須塩原市

編み目をモチーフにしたビジュアルアイデンティティです。青と緑の要素により、自然、好き(ハート)、つながりを表現しています。

当事者たちとの未来デザイン活動

パーパスは、多くの市民や関係者とともに考え、かたちにしてきました。2024年4月から1年間、「那須塩原ブランドニットプロジェクト」として、会議やワークショップ、インタビューイベントを開催し、延べ2000時間以上、関わった人数は280人以上のぼりです。那須塩原に関わる多くの人々と、このまちの未来について対話や議論を重ねてきました。

パーパスを映像で表現

パーパスを、より多くの人に伝えるため、映像を制作しました。パーパスの全文が読み上げられるナレーションにあわせて、「人」に見立てた糸が、それぞれの自由な想いのままに動き、それらが相互に関係し合うことで、那須塩原というまちが個性豊かに編み込まれていく様子を描いています。

さまざまな「好き」を編み込んでいきたい

パーパスをもとに、那須塩原に関わる全ての人が主語となり、さまざまな「好き」を編むことで、もっと那須塩原に行きたい・住みたいと思ってもらえるだけではなく、市民一人ひとりが住んでいて幸せだと感じられるような活動を行っています。



詳細はこちら



映像はこちら



那須塩原ブランドニットプロジェクト展の様子